

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

YNU initiative(学士課程) .....	p. 1
教育学部 .....	p. 4
経済学部 .....	p. 6
経営学部 .....	p. 9
理工学部 .....	p.11
都市科学部 .....	p.17

### YNU initiative(学士課程)

#### 横浜国立大学（YNU）が求める学生像

YNUは、自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語り、柔軟な発想と主体的・創造的な課題探求・解決能力を身につけ、社会のリーダーとしてグローバルな共生社会に貢献したい人を求める学生像とする。

- ・幅広い基礎学力を備え、確かな知識や技能を身につけたい人
- ・知的好奇心や科学的探究心を持ち、新たな発見やアイデアを創造する思考力や判断力を獲得したい人
- ・社会が直面する諸課題を解決するために、多様な人々と協働して主体的に社会へ参画する強い意志と責任感を持ちたい人
- ・国境を超えたグローバル時代において、外国人学生と共にコミュニケーション力を高め、世界を舞台に発信・飛躍したい人
- ・大学院に進学し、さらに高度の知識・技能を身につけ、高度専門職業人として社会に貢献したい人

#### 大学入学者選抜の実施方針

YNUの大学入学者選抜は、入学者が高等学校段階までに身に付けた力を、大学が発展・向上させ、社会に送り出す大学教育システムを前提に、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）の卒業認定・学位授与の方針（Policy 1 ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（Policy 2 カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる入学志願者に求める学力を構成する3つの要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習する態度）を多面的・総合的に評価するものとする。学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）は、

高等学校で履修すべき科目等をあらかじめ具体的に明示するとともに、大学入学後の教育課程プログラムとの関連を十分に踏まえつつ、入試方法の多様化、評価尺度の多元化に努めるものとする。

### 学力を構成する3つの要素

- ・基礎的・基本的な知識・技能
- ・知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力
- ・主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

### 横浜国立大学（YNU）が入学者に求める知識や能力・水準

YNU 入学者に求める知識や能力・水準は、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに入学受入れの方針（Policy 3 アドミッション・ポリシー）を定め、大学入学共通テストおよび個別学力検査等による多面的・総合的な入学選抜により判定するとともに、高大接続・全学教育推進センターが大学全体として推進する中心的な役割を果たし、次に掲げる取組により高大接続システム改革の実現を目指すものとする。

- ・グローバル新時代に対応した社会的人材育成の観点から、キャリア形成を軸とした高大接続を可能にする入試改革
- ・YNU グローバル教育コア（YNU-GEC）を先導役として、本学のグローバル展開に資するために、ウェブ出願、渡日前入試等海外の入学志願者がアプローチしやすい入試制度を拡充
- ・海外協働教育研究拠点を活用した海外の高校との高大接続、いわば留大接続を推進
- ・レイトスペシャライゼーション型の教育プログラム（late specialization：入学時に学科等の所属を決めず、入学後の総合的な学修や基礎科目の履修を通じて専攻を決める教育課程編成方法）を実施するため、入学選抜における募集単位の大きくくり化を推進

### 学力検査の実施方針

- ・個別学力検査等は、高等学校学習指導要領に準拠し、高等学校教育の正常な発展の障害とならないよう十分留意し、適切な方法により実施
- ・個別学力検査等を実施する教科・科目は、学習指導要領に定められている教科・科目の中から、高等学校教育に及ぼす影響に配慮しつつ、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに入学受入れの方針（Policy 3 アドミッション・ポリシー）を踏まえて設定
- ・総合型選抜は、知識・技能の修得状況に過度に重点を置いた選抜基準とせず、口頭試問等の検査、大学入学共通テストの成績などの活用により入学志願者の能力、適性、意欲、関心等を多面的、総合的に判定
- ・学校推薦型選抜は、高等学校の教科の学習成績概評を出願要件や合格判定に用い、筆記や実技、口頭試問等の検査、大学入学共通テストの成績などの活用により入学志願者の能力・適正等を多面的、総合的に判定
- ・帰国生徒選抜・外国学校出身者選抜・社会人選抜は、外国における教育事情の違いや高等学校等卒業後の年月の経過などに鑑み、広く入学志願者の能力・適正等に応じ選抜がなされるよう

学力検査の全部又は一部免除を図り、小論文や面接等を適切に組み合わせて入学志願者の能力・適正等を多面的、総合的に判定

## **横浜国立大学（YNU）の入学者選抜の実施方法**

YNU の入学者選抜は、入学受入れの方針（Policy 3 アドミッション・ポリシー）、募集人員、出願要件、出願手続、試験期日、試験方法、試験場、入学検定料その他入学に要する経費の種類・額やその納入手続・期限など入学志願者が出願等に必要な事項を明記した「学生募集要項」に基づき実施するものとする。

### **入学者選抜の実施体制**

入学者選抜は、中立・公正に実施し、入試問題の漏洩など入学者選抜の信頼性を損なう事態が生ずることのないよう、学長を中心とした責任体制の明確化、入試担当教職員の選任における適格性の確保など実施体制の充実を図るものとする。また、受験生の不正行為を未然に防止するため、受験生の座席の配置など試験室の設定の際の配慮、不正行為の内容および罰則の周知、受験生の所持品の確認、試験室内の巡視を十分に行うことなどに努めるものとする。

### **入試情報の提供方法**

入学志願者に対する入試情報は、学生募集要項のほか、大学案内、大学説明会、大学 Web 等により、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとの入学受入れの方針（Policy 3 アドミッション・ポリシー）、教育研究の内容および特色、学生生活の概要および諸経費、過去の年度の入学志願者および合格者の数、卒業後の進路状況など学部選択等の参考となる情報を提供するものとする。また、学力検査問題等については、標準的な解答例や出題の意図等を明らかにするとともに、入試の実施以降に受験者や次年度以降の入学志願者が学習上参考にできるよう公表に努めるものとする。

自然災害や疫病・感染症の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、大学 Web で周知する。なお、これらの不測の事態が生じた場合は、選抜日程・方法等を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがある。

### **障がいのある入学志願者の合理的配慮**

障がいのある入学志願者に対しては、障害者基本法や障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の趣旨に十分留意し、その能力・適性、学習の成果等を適切に評価するため、次に掲げる例示による必要な合理的配慮を行い、障がいのない学生と公平に試験を受けられるように配慮するものとする。また、入試における配慮の内容など情報アクセシビリティに配慮して広く情報の公開とともに、事前相談の時期や方法について十分配慮し、事前相談体制の充実に努めるものとする。

- ・点字・拡大文字による出題、拡大解答用紙の作成など
- ・特定試験場の設定、試験会場への乗用車での入構、座席指定の工夫など
- ・試験時間の延長、文書による注意事項の伝達、試験室入り口までの付添者の同伴、介助者の配置など

## 教育学部／学校教員養成課程

### 教育学部学校教員養成課程が求める学生像

教育学部（学校教員養成課程）は、学校教育に関心が高く、教員として子どもの学びへの支援の方法を能動的かつ協働的に創造していこうとする強い熱意を有する人を求めている。教育学部が求める学生像は次の通りである。

- ・子どもとコミュニケーションをとりながら共に学び続けたい人
- ・学校教育の充実、創造に貢献したい人
- ・特別支援教育の充実、創造に貢献したい人
- ・現代的な教育課題に対して、他者と協働して広い視野に立った解決策を構想し実践したい人

### 教育学部学校教員養成課程が入学者に求める知識や能力・水準

教育学部（学校教員養成課程）が入学者に求める知識や能力・水準は、次によるものとし、大学入学共通テストおよび個別学力検査等などを活用して多面的・総合的な入学者選抜により判定する。

- ・子どもと共に未来を切り拓いていくために、高等学校までに身につけた知識・技能を現代的教育課題の解決に活用する力。
- ・高等学校までに身につけた知識・技能を前提とし、現代的教育課題の解決に必要な視野の広い思考力と表現力。
- ・教員として子どもと関わり、他者と協働するためのコミュニケーション能力。

### 教育学部学校教員養成課程の入学者選抜の実施方法

#### 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストの成績と調査書、自己推薦書、面接試験および小論文試験あるいは実技検査を総合して選抜を行う。入学志願者数にかかわらず、2段階選抜は行わない。

#### 総合型選抜

第1次選抜では自己推薦書、調査書、課題レポート、小論文、第2次選抜では面接試験を行い、大学入学共通テストの成績により最終合格者を決定する。面接試験では、小学校教員を志す者として、教育に対する情熱やコミュニケーション能力を有するかを総合的に評価する。

#### 学校推薦型選抜

小論文および個人面接、推薦書、調査書、志願理由書、自己推薦書、英語専門領域を志願する者のみ外部試験、音楽専門領域を志願する者のみ聴音の実技試験、これらを総合的に評価する。小論文では、主として教育や人間に関する日本語の文章や資料を素材として、理解力、思考力、表現力を評価する。個人面接では、教員になるための意欲と資質をみる。

## 帰国生徒選抜

小論文および個人面接、学業成績証明書、志願理由書および自己推薦書の内容を総合的に評価する。小論文では、主として教育や人間に関する日本語の文章や資料を素材として、理解力、思考力、表現力を評価する。個人面接では、教員になるための意欲と資質をみる。

## 経済学部／経済学科

### 経済学部経済学科が求める学生像

経済学部では、経済社会に常に興味を持ち、自分の力で課題を解決しようとする意欲のある人を求めている。

- ・ 数学、外国語の基礎的学力を備えた人
- ・ 必要な情報に自分からアクセスするだけでなく、自己の思考で整理し、さらに自ら情報を発信する力を身に付けようとする人
- ・ 知的好奇心に溢れ、新しい見方やアイデアを具体化し、世の中に貢献していこうとする人
- ・ 市場システム・経済社会制度を学び、経済学的手法で経済社会の諸問題の解決に挑戦したい人
- ・ 経済・社会・歴史・制度に深い興味を持ち、世界経済を長期的に展望する能力を育み、国際社会が抱える問題の解決に貢献していこうとする人
- ・ 経済と法律にまたがる事象に興味があり、経済学と法学の基礎的素養を修得し、法律の専門知識が活かせる仕事に就きたい人

### 経済学部経済学科が入学者に求める知識や能力・水準

#### 一般選抜で求める知識や能力・水準

一般選抜では数理的・論理的分析と国際コミュニケーション能力を重視するため、前期日程では数学および英語の両方に優れた人を、後期日程では数学または英語のいずれかに秀でた人を求める。

#### 入学までの心構え

経済学部（経済学科）が入学者に求める知識や能力が入学後にどのように役に立つかの関連性は次のとおりである。

##### 経済システムの理解

経済メカニズムの明確な理解、経済社会問題の体系的認識が可能になる。

経済学の基礎理論から、財政・金融、ファイナンス、統計・計量経済学、経済史等に至る広範な応用科目の順次的・体系的な理解が可能になる。

##### 国際経済の理解

横浜高等商業学校以来の引き継がれてきた伝統である国際貿易、国際金融、経済開発などの応用科目の理解をもとに、グローバル化する経済の仕組みを認識する。

さらに、各地域に固有の歴史、制度、商習慣、環境等の特性に対する深い理解をもとに、グローバル化・多極化の進展と新興国・地域の勃興にともなう現代の経済社会の諸課題の問題解決の方向が探求できる。

## 法と経済の理解

複雑化する経済現象・企業行動に対し、法学と経済学の複眼的発想をもって取り組めるよう、経済学とともに、基礎的な法律科目（人・物と法、取引と法、憲法等）から、経済に密接に関係する法制度（経済法、商法、知的財産法、労働法等）の科目まで体系的に理解する。

## コミュニケーション能力の強化と実践的国際交流

海外協定校への短期留学派遣と「Applied Economics Intensive（海外の大学でのサマースクール）」参加を通じて英語によるコミュニケーション能力を身に付け、実践的国際交流によりグローバル人材としての資質をより高める。

## アクティブ・ラーニング、リーダーシップ、実践力強化

専門教育の初級から中級レベルにかけて、日本語と英語で行われる「課題プロジェクト演習」に参加し、ICT 機器を用いたアクティブ・ラーニング、課題解決型学修、双方向学修の技法を習得する。

日本語および英語でのコミュニケーション能力、リーダーシップ、協働力といった実践力を獲得する。

## グローバル経済社会の諸課題に対するイノベーティブな解決技法の修得

高度全学教育科目では、グローバル教育科目を通じてブラジル、インドネシア、ベトナムなど各国事情の理解を図る。

また、イノベーション教育科目を通じて、システム・エンジニアリング、知的財産法といった科学技術とその社会実装に関して学び、文理融合型イノベーション創成の技法を学修する。

## ゼミナールでの卒業研究

3 年次から始まるゼミナールでは、上記で獲得した知識・能力・技法を十分に活用し専門性を深化させ学士力を高める。

4 年次にゼミナールでの研究の成果として卒業論文を完成させる。

## 経済学部経済学科の入学者選抜の実施方法

### 一般選抜（前期日程および後期日程）

大学入学共通テストの成績と個別学力検査、調査書、自己推薦書を総合して選抜を行う。前期日程・後期日程のいずれも、入学志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合には、大学入学共通テストの成績および調査書により第 1 段階選抜を行い、その合格者についてのみ個別学力検査等を行う。

### 総合型選抜（一般プログラムおよび GBEEP）

第 1 次選抜では入学志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合に書類（英語スコア）により選抜を行い、第 2 次選抜では自己推薦書および他の提出書類により複数の面接員による個人面接試験を行い、熱意と適性を総合的に判断する。大学入学共通テストの成績および第 2 次選抜

の成績により、最終合格者を決定する。

### **外国学校出身者特別選抜**

第1次選抜では出願書類により選抜を行う。第2次選抜では小論文および面接により選抜を行う。小論文では、社会科学に関するテーマについての基本的な理解、見解の独創性・論理性、論文の構成力・表現力等をもって評価する。面接では、外国学校で学んだことや海外体験、そこでの勉強の達成度をどのように自己評価するか、大学で何を学びたいのか、その対象に対する基礎知識と問題解決能力などを評価する。

### **YGEP-N1（私費外国人留学生入試）**

日本留学試験および TOEFL、TOEIC 又は IELTS の成績により第1段階選抜を行い、その第1段階選抜合格者に対し、集団面接を行う。

## 経営学部／経営学科

### 経営学部経営学科が求める学生像

経営学部では、社会の発展に貢献したい意欲的な学生を求めている。企業は多面的な要素（ヒト、モノ、カネ、情報）と活動（研究開発、調達、生産、販売など）から構成され、複雑化している。企業や組織の抱える問題に対する答えを出すのは容易ではない。その答えを探す努力を惜しまない、次のような学生を求めている。

- ・企業をはじめとする各種組織の経営に関する問題に興味のある人
- ・興味を持ったら、その中の何かに対して疑問も持てる人
- ・疑問も持ったら自ら解決に向かって行動できる人
- ・その過程で困難に出遭っても積極的に立ち向かえる人

### 経営学部経営学科が入学者に求める知識や能力・水準

#### 学力検査の実施方針

経営学部（経営学科）が入学者に求める知識や能力・水準は、次によるものとし、大学入学共通テストおよび個別学力検査等を活用して多面的・総合的な入学者選抜により判定する。

#### 一般選抜

論理的思考力と国際コミュニケーション能力を重視するため、前期日程では数学または英語のいずれかに秀でた人を、後期日程では数学および英語の両方に優れた人を評価。

#### 総合型選抜

1. 国際コミュニケーション能力、2. グローバルな環境下での協働性やリーダーシップ、
3. 数学的思考力、4. 経営と経済への関心度、5. 学習意欲、6. 人間性・倫理観などの能力を評価。

#### 学校推薦型選抜

小論文では、経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマについての理解度・思考力および表現力を評価。

面接では、複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価。

#### 帰国生徒選抜

小論文では、経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマについての理解度・思考力および表現力を評価。

面接では、複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価。

## 社会人選抜

小論文では、経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマについての理解度・思考力および表現力を評価。

面接では、複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価。

## YGEP-N1（私費外国人留学生入試）

小論文では、経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力および表現力を評価。

面接では、複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価。

## 経営学部経営学科の入学者選抜の実施方法

### 一般選抜（前期日程および後期日程）

大学入学共通テストの成績と個別学力検査、調査書、自己推薦書を総合して選抜を行う。前期日程・後期日程のいずれも、入学志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合には、大学入学共通テストの成績および調査書により第1段階選抜を行い、その合格者についてのみ個別学力検査等を行う。

### 総合型選抜（GBEEP）

第1次選抜では入学志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合に書類（英語スコア）により選抜を行い、第2次選抜では自己推薦書および他の提出書類により複数の面接員による個人面接試験を行い、熱意と適性を総合的に判断する。大学入学共通テストの成績および第2次選抜の成績により、最終合格者を決定する。

### 学校推薦型選抜

小論文試験および複数の面接員による個人面接試験と志望理由書、出身学校長が作成した推薦書および調査書を総合して選抜を行う。

### 帰国生徒選抜

小論文試験および複数の面接員による個人面接試験と志望理由書・成績証明書を総合して選抜を行う。

## 社会人選抜

小論文試験、複数の面接員による個人面接試験、志望理由書、在職証明書、出身学校の調査書を総合して選抜を行う。

## YGEP-N1（私費外国人留学生入試）

日本留学試験および TOEFL、TOEIC 又は IELTS の成績により第1段階選抜を行い、その第1段階選抜合格者に対し、小論文試験および複数の面接員による個人面接試験を行う。

## 理工学部／機械・材料・海洋系学科

### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

#### 理工学部機械・材料・海洋系学科が求める学生像

理工学部機械・材料・海洋系学科が求める学生像を、学部・学科および教育プログラム（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに定める。

#### 理工学部（求める学生像）

- ・自然科学の真理探究や独創的なものづくりを通して、自ら成長・発展しようとチャレンジ精神にあふれ、新しい時代に対応できる理工系のセンスと国際的視野を磨いて世の中への貢献を志す入学者を求めている。

#### 機械・材料・海洋系学科（求める学生像）

- ・機械工学、材料工学、または海洋空間のシステムデザインの分野に興味を持ち、マイクロから宇宙までの様々なスケールの事象に対して知恵と技術とモノを用いることで、環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人を求めている。自由と責任を有する大人としての自律性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力を持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人を求めている。

#### 機械工学教育プログラム（求める学生像）

- ・機械工学に興味を持ち、機械工学の専門知識を用いて環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人
- ・自由と責任を有する大人としての自立性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力とを持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人

#### 材料工学教育プログラム（求める学生像）

- ・物理や化学に基づいた、材料の様々な性質を生み出す仕組みの解明に興味がある人
- ・材料工学に強い関心を持ち、新材料やその応用技術を開発したいと希望する人
- ・既存の材料や製造プロセスに環境負荷低減技術を積極的に導入したいと意欲に溢れる人

#### 海洋空間のシステムデザイン教育プログラム（求める学生像）

- ・環境と調和しつつ世界中を駆けめぐる“未来型の船舶や航空機”、世界中に潜在する海洋エネルギーや海底資源の利用を推進するための“斬新な海洋構造物”の設計エンジニアになりたい人
- ・海洋から大気圏さらに宇宙を活躍の場とする“船舶、航空機、人工衛星の運用”の最適化を通して、人や物資の流れを作り、世界を1つにすることを目指したい人

## 理工学部機械・材料・海洋系学科が入学者に求める知識や能力・水準

### 学力検査の実施方針

理工学部機械・材料・海洋系学科が入学者に求める知識や能力・水準は、学部・学科および教育プログラム（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに定めるものとし、大学入学共通テストおよび個別学力検査等を活用して多面的・総合的な入学選抜により判定する。

### 理工学部（知識や能力・水準）

- ・英語、数学、国語、社会、理科の基礎学力を前提に、理工学の専門分野の特性を考慮し、数学と理科および英語の能力および思考力を特に重視する。

## 理工学部機械・材料・海洋系学科の入学選抜の実施方法

理工学部機械・材料・海洋系学科の入学選抜は、学部・学科および教育プログラム（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに定めて実施する。

### 入学選抜の実施方針

- ・高等学校では、機械・材料・海洋系学科で重要となる、数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学んでもらうことが必要である。
- ・特に機械・材料・海洋系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する学力をしっかりと身につけておくことが重要である。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すためには、英語が重要であることはいままでもない。

### 一般選抜（前期日程および後期日程）

大学入学共通テストの成績と個別学力検査、調査書、自己推薦書を総合して選抜を行う。入学志願者数にかかわらず、2段階選抜は行わない。

### 総合型選抜（材料工学教育プログラムおよび海洋空間のシステムデザイン教育プログラム）

第1次選抜では書類審査、第2次選抜では面接試験（口頭試問による学力検査（数学・物理及およびそれらに関する総合的な能力の検査）により選抜を行い、大学入学共通テストの成績により、最終合格者を決定する。

### YGEP-N1（私費外国人留学生入試）

日本留学試験の成績、英語検定試験（TOEFL、TOEIC 又は IELTS）の成績、数学の筆記試験、面接試験により選抜を行う。材料工学教育プログラムと海洋空間のシステムデザイン教育プログラムは渡日前入試も実施する。

## 理工学部／化学・生命系学科

### 入学者受入れ方針（アドミッションポリシー）

#### 理工学部化学・生命系学科が求める学生像

理工学部化学・生命系学科が求める学生像を、学部・学科および教育プログラム（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに定める。

#### 理工学部（求める学生像）

- ・自然科学の真理探究や独創的なものづくりを通して、自ら成長・発展しようとチャレンジ精神にあふれ、新しい時代に対応できる理工系のセンスと国際的視野を磨いて世の中への貢献を志す入学者を求めている。

#### 化学・生命系学科（求める学生像）

- ・自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな 21 世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人を求めている。
- ・向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人を求めている。

#### 化学教育プログラム（求める学生像）

- ・化学の基礎知識を十分備え、さまざまな自然科学の知識を活用して、現象の真理を原子や分子レベルから探究することのできる研究者、および最先端化学を駆使することで、地球規模で人類が抱える諸問題解決や新しい機能性材料、エネルギー化学の創造に貢献できる技術者を目指す人。

#### 化学応用教育プログラム（求める学生像）

- ・化学の基本知識を応用し、高度な化学反応プロセスや先端材料、新エネルギー材料の開発、実践的な安全管理や環境創出といった未来社会への課題解決に貢献できる研究者・技術者を目指す人。

#### バイオ教育プログラム（求める学生像）

- ・生物学、化学、物理学を基礎とする現代生物学の方法を通して生命を理解し、その成果を食糧問題や生命・医療などのグローバルな課題の解決に応用できるバイオ関連の技術者・研究者を目指す人。
- ・向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人。

## 理工学部化学・生命系学科が入学者に求める知識や能力・水準

### 学力検査の実施方針

理工学部化学・生命系学科が入学者に求める知識や能力・水準は、学部・学科および教育プログラム（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに定めるものとし、大学入学共通テストおよび個別学力検査等を活用して多面的・総合的な入学選抜により判定する。

### 理工学部（知識や能力・水準）

- ・英語、数学、国語、社会、理科の基礎学力を前提に、理工学の専門分野の特性を考慮し、数学と理科および英語の能力および思考力を特に重視する。

## 理工学部化学・生命系学科の入学選抜の実施方法

理工学部化学・生命系学科の入学選抜は、教育プログラム（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに定めて実施する。

### 入学選抜の実施方針

#### 化学教育プログラム／化学応用教育プログラム

- ・高等学校では、化学はもちろんのこと、数学や物理などの基本科目をしっかりと学んでもらうことが必要である。

#### バイオ教育プログラム

- ・高等学校では、バイオサイエンスの学修に必要な生物を中心に、数学、物理、化学などの基本科目をしっかりと学んでもらうことが必要である。

#### 一般選抜（前期日程および後期日程）

大学入学共通テストの成績と個別学力検査、調査書、自己推薦書を総合して選抜を行う。入学志願者数にかかわらず、2段階選抜は行わない。

#### 学校推薦型選抜

大学入学共通テストの成績、推薦書、調査書および面接により選抜を行う。

#### YGEP-N1（私費外国人留学生入試）

日本留学試験の成績、英語検定試験（TOEFL、TOEIC 又は IELTS）の成績、数学の筆記試験、面接試験により選抜を行う。

## 理工学部／数物・電子情報系学科

### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

#### 理工学部数物・電子情報系学科が求める学生像

理工学部数物・電子情報系学科が求める学生像を、学部・学科および教育プログラム（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに定める。

#### 理工学部（求める学生像）

- ・自然科学の真理探究や独創的なものづくりを通して、自ら成長・発展しようとチャレンジ精神にあふれ、新しい時代に対応できる理工系のセンスと国際的視野を磨いて世の中への貢献を志す入学者を求めている。

#### 理工学部数物・電子情報系学科（求める学生像）

- ・数学、物理の基本原理を深く理解し、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があつて、理工学の諸分野で国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人
- ・数学、物理、光や電気・電子、情報について強い関心や高い能力を持つ人

#### 数理学教育プログラム（求める学生像）

- ・現代の数学である数理学を縦横に活用して社会に有為な人材になりたい人、また、将来、その発展に貢献することで国際的な活躍をしたい人
- ・数学と物理、コンピュータの活用に興味があり、コンピュータグラフィックス、コンピュータシミュレーション、画像処理、数理モデリングなどを用い、世の中の複雑な現象・問題を理解・解決したい人

#### 物理工学教育プログラム（求める学生像）

- ・宇宙、素粒子、様々な物質系などの性質を物理学の手法を用いて探究することに関心のある人
- ・物理学を深く理解したうえで、工学の幅広い分野で常に原理に立ち返って新しい科学技術を生み出したい人

#### 電子情報システム教育プログラム（求める学生像）

- ・電気・電子・通信・情報工学などに興味があり、これらの分野の研究者・技術者として、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があつて、理工学の諸分野での国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人
- ・電気・電子・通信・情報工学などの分野の研究者・科学者として、社会で役立つ実践力を身につけたい人
- ・高度情報化社会を支える新しい先端的技術を創り出すことを目指す人

## 情報工学教育プログラム（求める学生像）

- ・情報学・情報工学の基礎から応用までを身につけ、自ら先端的な情報理論・処理方式・システムを創造して社会に貢献する意欲を持った人
- ・人の優れた知能や能力をコンピュータ・機械で実現し、人を支援することで、人を中心とした豊かで安全・安心な未来社会を実現したいと考えている人

## 理工学部数物・電子情報系学科が入学者に求める知識や能力・水準

### 学力検査の実施方針

理工学部数物・電子情報系学科が入学者に求める知識や能力・水準は、学部・学科および教育プログラム（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに定めるものとし、大学入学共通テストおよび個別学力検査等を活用して多面的・総合的な入学選抜により判定する。

### 理工学部（知識や能力・水準）

- ・英語、数学、国語、社会、理科の基礎学力を前提に、理工学の専門分野の特性を考慮し、数学と理科および英語の能力および思考力を特に重視する。

## 理工学部数物・電子情報系学科の入学選抜の実施方法

理工学部数物・電子情報系学科の入学選抜は、学部・学科および教育プログラム（学士の学位を授与する教育課程プログラム）ごとに定めて実施する。

### 入学選抜の実施方針

- ・大学入学後の学習の土台となる基礎学力を育成するためには、高等学校では基本的科目を幅広く学んでもらうことが必要である。特に数物・電子情報系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する学力をしっかりと身につけておくことが重要である。また、国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すためには、英語が重要であることはいままでもない。

### 一般選抜（前期日程および後期日程）

大学入学共通テストの成績と個別学力検査、調査書、自己推薦書を総合して選抜を行う。入学志願者数にかかわらず、2段階選抜は行わない。

### YGEP-N1（私費外国人留学生入試）

日本留学試験の成績、英語検定試験（TOEFL、TOEIC 又は IELTS）の成績、数学の筆記試験、面接試験により選抜を行う。

## 都市科学部／都市社会共生学科

### 都市科学部が求める学生像

- ・理工系と人文社会系の知識を学ぶことで文理両面の視点を身につけたい人
- ・ローカル・グローバルにわたる多次元的な世界を相互理解できる広い視野をもち、横断的な課題解決能力、総合力を身につけたい人
- ・上記の視点と視野・能力を身につけて、都市づくり・都市社会構築で都市の未来に貢献したい人

### 都市社会共生学科が求める学生像

- ・現代社会においてダイバーシティ（多様性）が生み出す様々な問題と可能性の本質を理解した上で、技術・自然・人がより共生した都市社会の創成に貢献したい人
- ・歴史を通じて培われてきた芸術や現代の文化が都市創成で果たす役割を学び、文化や芸術が持つ多様性を生み出す力で都市や社会を豊かにしたい人
- ・国内外を問わず、都市化によって生み出される周縁化の問題（格差や貧困）を理解し、ダイバーシティに配慮した社会開発の策定・実践を行いたい人

### 都市科学部都市社会共生学科が入学者に求める知識や能力・水準

#### 学力検査の実施方針

都市科学部都市社会共生学科が入学者に求める知識や能力・水準は、次によるものとし、大学入学共通テストおよび個別学力検査等を活用して多面的・総合的な入学者選抜により判定する。

- ・高等学校では、文理双方の基本的科目を幅広く学ぶことが必要である。高校教育における幅広い基礎的な知識や技能を前提とし、一般選抜（前期日程・後期日程）では、国語および社会科目の学力を土台とし、かつ表現力と論理的思考力を求める。
- ・一般選抜（前期日程・後期日程）では、グローバルな感覚を養うための土台としての外国語の能力を求める。
- ・総合型選抜については、高校の教科にとらわれない人文社会科学に関する幅広い興味関心、思考力、表現力を含めた総合的な能力を求める。
- ・YGEP（私費外国人留学生）入試では、大学入学共通テストの代わりに日本留学試験および外部英語試験（TOEFL、TOEIC 又は IELTS）を課すことで基礎的な知識や技能を確認する。
- ・YGEP-N1（私費外国人留学生）渡日入試では、面接試験を課すことで口頭での日本語運用能力と自分の関心分野についての理解の度合いを確認する。

### 都市科学部都市社会共生学科の入学者選抜の実施方法

#### 一般選抜（前期日程および後期日程）

大学入学共通テストの成績と個別学力検査、調査書、自己推薦書を総合して選抜を行う。入学志願者数にかかわらず、2段階選抜は行わない。

### **総合型選抜**

第1次選抜では書類審査、第2次選抜では文章実技および面接試験を、文化的・社会的現象に関するテーマについての基本的な理解、論理的思考力および表現力を問う内容で行う。大学入学共通テストの成績により最終合格者を決定する。

### **帰国生徒選抜**

第1次選抜では書類審査、第2次選抜では文章実技および面接試験を行い、最終合格者を決定する。文章実技は、文化的・社会的現象に関するテーマについての基本的な理解、論理的思考力および表現力を評価する。面接試験は、志望動機や学習計画、海外体験と合わせて文章実技の内容についても質疑を行い、総合的な思考力を評価する。

### **YGEP-N1（私費外国人留学生入試）**

日本留学試験および外部英語試験（TOEFL、TOEIC 又は IELTS）の成績の提出を出願要件として課し、書類および面接試験により選抜を行う。

## 都市科学部／建築学科

### 都市科学部が求める学生像

- ・理工系と人文社会系の知識を学ぶことで文理両面の視点を身につけたい人
- ・ローカル・グローバルにわたる多次元的な世界を相互理解できる広い視野をもち、横断的な課題解決能力、総合力を身につけたい人
- ・上記の視点と視野・能力を身につけて、都市づくり・都市社会構築で都市の未来に貢献したい人

### 建築学科が求める学生像

- ・建築の思想を中心に芸術から工学まで幅広く学び、これからの時代を担う建築を都市の中に構想できる創造的な建築家になりたい人
- ・自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人
- ・自然と調和した住空間のデザインスキルを身につけ、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人
- ・都市や建築の成り立ちや歴史の変遷を知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを実践できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい人
- ・建築や都市に関する知見を生かして、地域社会や国際社会のファシリテーションやマネジメントに積極的に関わっていききたい人

### 都市科学部建築学科が入学者に求める知識や能力・水準

#### 学力検査の実施方針

都市科学部建築学科が入学者に求める知識や能力・水準は、高校教育における幅広い基礎的な知識や技能を前提に、特に英語、数学、理科の試験を課して、論理的思考力を求めるものとし、大学入学共通テストおよび個別学力検査などを活用して多面的・総合的な入学者選抜により判定する。

- ・高等学校では、建築学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学ぶことが必要である。
- ・一般選抜では、建築空間・都市空間を空気・光・音・熱などを含めて的確に把握・分析し、力の流れを適切に制御しながら、新たな空間を創造する力を身に付けるため、数学・理科の素養と論理的思考力を求める。また、国際的な広い視野とコミュニケーション能力を備えていることを求める。
- ・総合型選抜では、空間を幾何学的に把握し、創造する能力と、コミュニケーションを通じた理解力・批評力・表現力を求める。
- ・YGEP（私費外国人留学生）入試では、大学入学共通テストの代わりに日本留学試験および外部英語試験（TOEFL、TOEIC 又は IELTS）を課すことで基礎的な知識や技能を確認する。

## 都市科学部建築学科の入学者選抜の実施方法

### 一般選抜（前期日程および後期日程）

大学入学共通テストの成績と個別学力検査、調査書、自己推薦書を総合して選抜を行う。入学志願者数にかかわらず、2段階選抜は行わない。

### 総合型選抜

第1次選抜では書類審査および実技（造形に関する思考力・表現力の検査）、第2次選抜では面接試験（口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力の検査）により選抜を行い、最終合格者を決定する。

### 帰国生徒選抜

第1次選抜では書類審査、実技試験（造形に関する思考力・表現力の検査）および小論文、第2次選抜では面接試験により選抜を行い、最終合格者を決定する。小論文は、建築を中心としたテーマに対する思考力、表現力、独創性・論理性、および、造形に関する思考力・表現力を評価する。面接試験は、海外で学んだこと、大学で学びたいことと海外経験の活かし方の関わりに対する考え、および、口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力を評価する。

### YGEP-N1（私費外国人留学生入試）

日本留学試験および外部英語試験（TOEFL、TOEIC 又は IELTS）の成績の提出を出願要件として課し、書類および面接試験により選抜を行う。渡日前入試も実施する。

## 都市科学部／都市基盤学科

### 都市科学部が求める学生像

- ・理工系と人文社会系の知識を学ぶことで文理両面の視点を身につけたい人
- ・ローカル・グローバルにわたる多次元的な世界を相互理解できる広い視野をもち、横断的な課題解決能力、総合力を身につけたい人
- ・上記の視点と視野・能力を身につけて、都市づくり・都市社会構築で都市の未来に貢献したい人

### 都市基盤学科が求める学生像

- ・自然環境との調和や共生など地球的観点に立ってより良い都市や国土の創造に興味がある人
- ・地震、台風、火山、豪雨、津波などの自然災害から都市や社会を守るために、数学、物理学、化学を発展させた土木工学の基礎学理をリスクマネジメントに応用して、防災・減災の取り組みをしたい人
- ・IT/ビッグデータなどの最先端技術/情報と土木工学を融合させ、社会基盤の整備、維持管理や運用に利活用して、都市や社会生活を豊かにしたい人
- ・世界の政治や社会、経済状況に広く関心を持ち、社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して、国際的に活躍したい人

### 都市科学部都市基盤学科が入学者に求める知識や能力・水準

#### 学力検査の実施方針

都市科学部都市基盤学科が入学者に求める知識や能力・水準は、次によるものとし、大学入学共通テストおよび個別学力検査等を活用して多面的・総合的な入学選抜により判定する。

- ・高等学校では、都市基盤学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く学ぶことが必要である。
- ・高校教育における幅広い基礎的な知識や技能を前提とし、論理的思考力を求める。
- ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を重視し、国際的視野やコミュニケーション能力を求める。
- ・YGEP（私費外国人留学生）入試では、大学入学共通テストの代わりに日本留学試験および外部英語試験（TOEFL、TOEIC 又は IELTS）を課すことで基礎的知識や技能を確認する。
- ・YGEP-N1 入試では、入学直後から授業科目を学ぶための日本語能力（N1 相当）を求める。
- ・YGEP-N2 入試では、1年間日本語教育を受けた後に2年次から専門科目を学ぶことができる日本語能力（N2 相当）を求める。

### 都市科学部都市基盤学科の入学選抜の実施方法

#### 一般選抜（前期日程および後期日程）

大学入学共通テストの成績と個別学力検査、調査書、自己推薦書を総合して選抜を行う。入学志願者数にかかわらず、2段階選抜は行わない。

## **総合型選抜**

第1次選抜では書類審査により都市基盤学科への熱意と適性を評価し、第2次選抜では面接試験（口頭試問による理解力、表現力の検査）を行う。大学入学共通テストの成績および第2次選抜の成績により、最終合格者を決定する。

## **YGEP-N1、N2（私費外国人留学生入試）**

日本留学試験および外部英語試験（TOEFL、TOEIC 又は IELTS）の成績の提出を出願要件として課し、書類および面接試験により選抜を行う。渡日前入試も実施する。

## 都市科学部／環境リスク共生学科

### 都市科学部が求める学生像

- ・理工系と人文社会系の知識を学ぶことで文理両面の視点を身につけたい人
- ・ローカル・グローバルにわたる多次元的な世界を相互理解できる広い視野をもち、横断的な課題解決能力、総合力を身につけたい人
- ・上記の視点と視野・能力を身につけて、都市づくり・都市社会構築で都市の未来に貢献したい人

### 環境リスク共生学科が求める学生像

- ・個別知識では対応できない複雑で多様化した環境リスクに対し、ヒトから都市、自然生態系、地球までのシステム全体を視野に入れた知識展開力を備えた人
- ・豊かさと表裏一体で生じるリスクとのバランスをマネジメントする「リスク共生」社会の実現をめざし、自然環境と社会環境のリスクを科学的に捉える数理的思考力と、ヒト・社会と対話できる社会科学的思考力を併せ持つ文理融合的素養を備えた人
- ・都市に恵みや災いをもたらす自然システムや都市や地域に潜む環境リスクを予測・評価・分析し、リスクと共生した持続的発展に貢献できる実践力を有する人

### 都市科学部環境リスク共生学科が入学者に求める知識や能力・水準

#### 学力検査の実施方針

都市科学部環境リスク共生学科が入学者に求める知識や能力・水準は、次によるものとし、大学入学共通テストおよび個別学力検査等を活用して多面的・総合的な入学者選抜により判定する。

- ・高等学校では、英語、数学、国語、地理歴史・公民、理科の基礎科目をしっかりと学ぶことが必要である。
- ・高校教育における幅広い基礎的な知識や技能を前提とし、一般選抜（前期日程）では、数理的な能力や理科の能力、さらにグローバルな専門家として活躍するための英語力を問い、環境リスクを扱うために必要なバランスの良い学力を持つ人材、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度を有する人材を求める。
- ・一般選抜（前期日程）においては自然科学のみならず社会科学も含めて数理的な能力を土台とし、発展させ得る人材、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度を有する人材を求める。
- ・一般選抜（後期日程）では数理的な能力に加え、論理的思考力に秀でた人材、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度を有する人材を求める。
- ・総合型選抜においては特に専門分野に対する強い学習・研究意欲や、筆記試験では測定が難しい総合的なセンスや視野の広い思考力、発想力、表現力を持つ人材、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度を有する人材を求める。
- ・YGEP（私費外国人留学生）入試では、大学入学共通テストの代わりに日本留学試験および外部英語試験（TOEFL、TOEIC 又は IELTS）を課すことで基礎的知識や技能を確認する。
- ・YGEP-N1 入試では、入学直後から授業科目を学ぶための日本語能力（N1 相当）を求める。

- ・ YGEP-N2 入試では、1年間日本語教育を受けた後に2年次から専門科目を学ぶことができる日本語能力（N2相当）を求める。

## 都市科学部環境リスク共生学科の入学者選抜の実施方法

### 一般選抜（前期日程および後期日程）

大学入学共通テストの成績と個別学力検査、調査書、自己推薦書を総合して選抜を行う。入学志願者数にかかわらず、2段階選抜は行わない。

### 総合型選抜

第1次選抜では書類審査、第2次選抜では実習（環境学への興味とセンス、思考力、発想力、表現力の検査。）を行う。大学入学共通テストの成績および第2次選抜の成績により、最終合格者を決定する。

### YGEP-N1、N2（私費外国人留学生入試）

日本留学試験および外部英語試験（TOEFL、TOEIC 又は IELTS）の成績の提出を出願要件として課し、書類および面接試験により選抜を行う。渡日前入試も実施する。